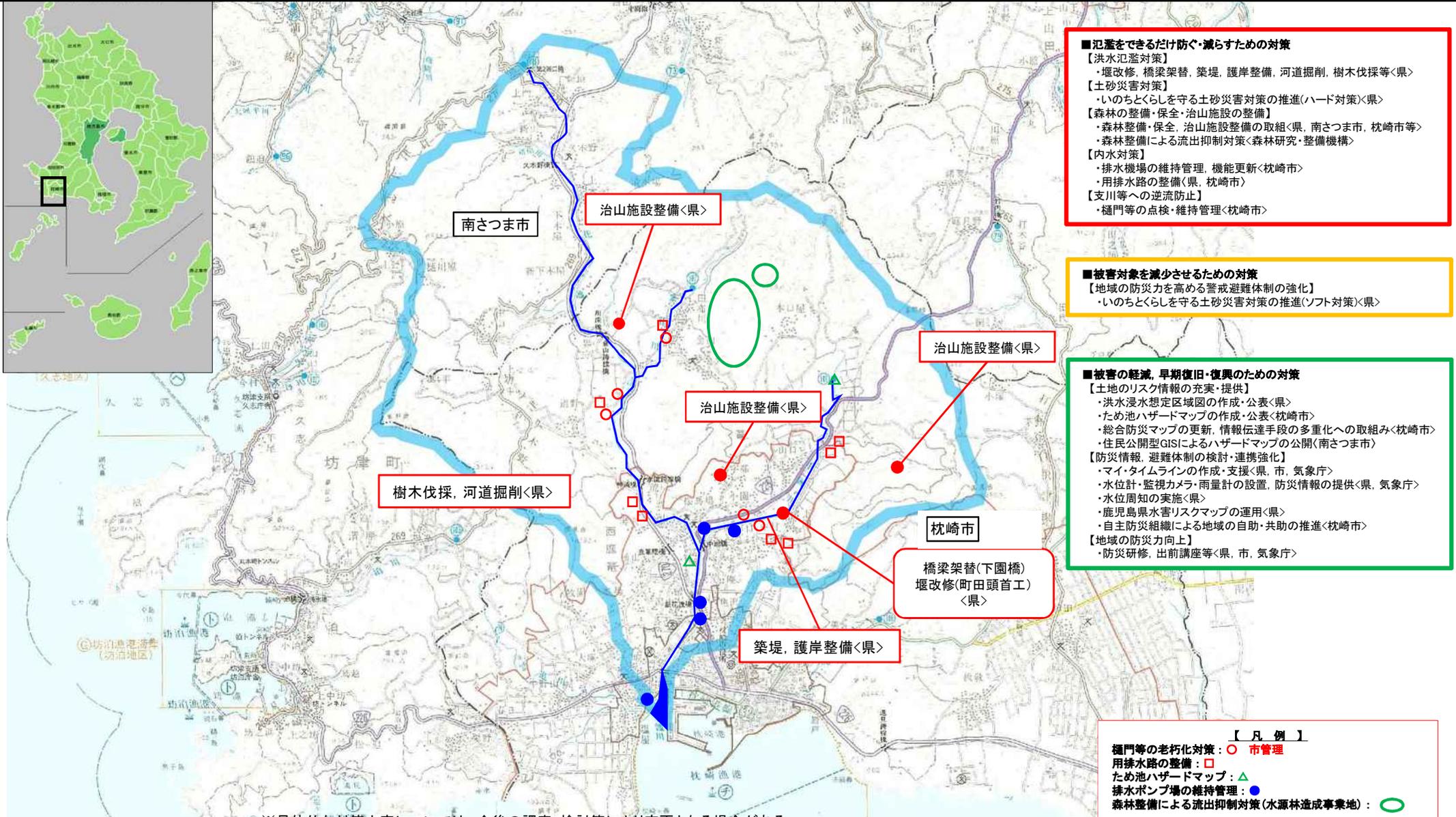


花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、花渡川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

花渡川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 花渡川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした町田頭首工改修，下園橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削等を主に実施。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤・急傾斜地崩壊防止設備整備を必要に応じて整備。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした森林の整備・保全，治山施設の整備を実施。
浸水被害を解消するため，内水排除を目的とした排水機場の維持管理・機能更新
支川等への逆流防止を目的とした樋門等の点検・維持管理を実施。
土地のリスク情報の充実・提供，防災情報，避難体制の検討・連携強化，地域の防災力向上など，流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中期】 流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。
 - 【中長期】 流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(頭首工改修，橋梁架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採等)	鹿児島県	町田頭首工改修，下園橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採 等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	必要に応じて土砂災害対策を実施		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県，市，森林研究整備機構等	森林整備，治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	内水対策	鹿児島県，枕崎市	排水機場の維持管理・機能更新，用排水路の整備 等		
	支流等への逆流防止	枕崎市	樋門等の点検。維持管理		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定 等		
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県，市	洪水浸水想定区域図の作成・公表，ため池ハザードマップの作成・公表 等		
	防災情報，避難体制の検討・連携強化	鹿児島県，市，気象庁	マイタイムラインの作成・支援，水位計・監視カメラ・雨量計の設置，防災情報の提供 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県，枕崎市，気象庁	自主防災組織による地域の自助・共助の推進，出前講座 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

花渡川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所【鹿児島県】

○洪水氾濫対策として、中洲川中流域では護岸整備，築堤，堰の改修及び橋梁架替を進めていく。また，花渡川水系の樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じるおそれのある箇所について，樹木伐採や河道掘削を実施する。

中洲川
・整備内容:護岸, 築堤, 堰改修, 橋梁架替

■ 対策状況(護岸)



■ 対策状況(町田頭首工)



花渡川水系
・整備内容:樹木伐採, 河道掘削

■ 金山川(実施前)



■ 金山川(実施後)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	護岸整備, 築堤, 堰改修, 橋梁架替等	鹿児島県	[Red arrow indicating progress]		
		河道掘削, 樹木伐採	鹿児島県	[Red arrow indicating progress]		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

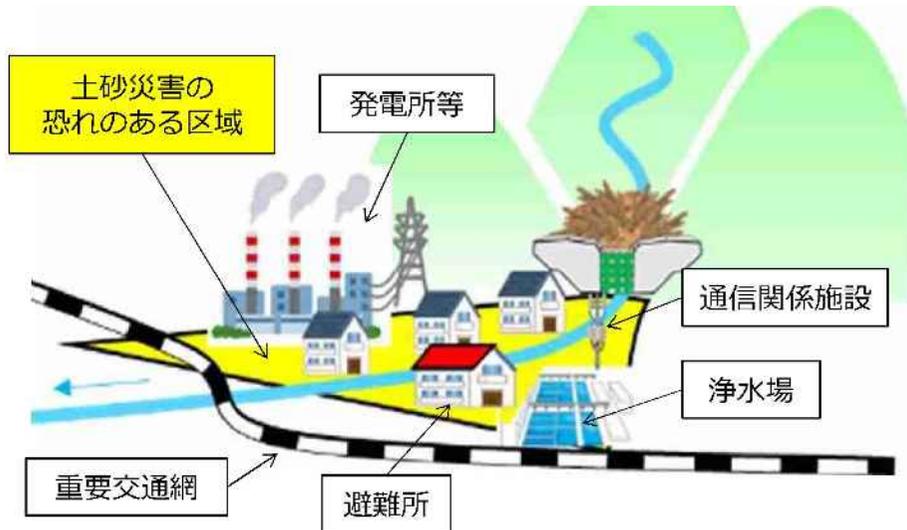
いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ハード対策）【鹿児島県】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

枕崎市雨水管理総合計画による浸水対策①【枕崎市】

◆事業の背景・目的

枕崎市は、計画外水位よりも地盤高が低い地区が多いことや、近年の異常気象に伴う異常降雨による床上、床下浸水等の甚大な浸水被害を受け、雨水対策が喫緊の課題である。

このため、雨水管理総合計画により中長期雨水浸水対策計画を策定し、浸水被害の解消を目的とする排水路や排水機場の整備を行うものである。

枕崎市の検討対象区域

全体計画 453.7ha (雨水)

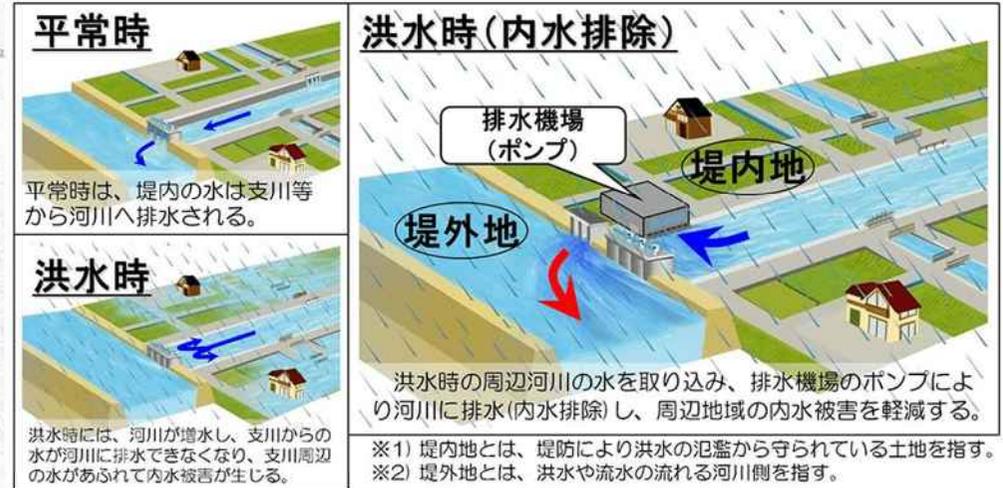
事業計画 326.7ha (雨水)

都市計画用途地域 479.2ha
(一部下水道全体計画区域外)



浸水は都市計画用途区域外でも生じている

⇒対象: 下水道区域 + 都市計画用途地域 + 浸水箇所



※排水路整備や排水機場の更新を行うことで、浸水被害を低減し、市民の生命・財産を守る。そのためにも、中長期的な維持管理や施設の老朽化に迅速対応するものとする。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水ポンプの機能更新 排水路の整備	枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

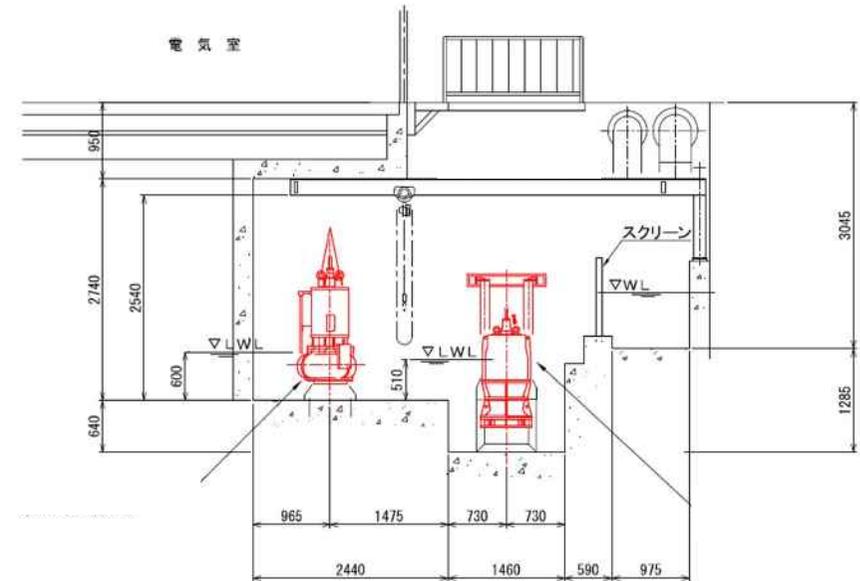
枕崎市雨水管理総合計画による浸水対策②【枕崎市】

◆現在の状況・課題

浸水履歴のある田畑地区及び平田潟地区には内水対策として排水機場が3箇所設置済みである。住宅の浸水対策だけではなく、市道等の冠水対策にも寄与しており、今後も継続して維持管理をしていかなければならない。しかしながら、設置より約30年が経過し、ポンプや発電機等が更新時期を迎えている。そのためにも雨水管理総合計画に基づく確かな更新整備を行うことで、安定した内水対策に貢献する。



機場名	吐出量	施設管理者
田畑排水機場	3.76m ³ /s	枕崎市
平田潟上流排水機場	0.65m ³ /s	
平田潟下流排水機場	1.80m ³ /s	



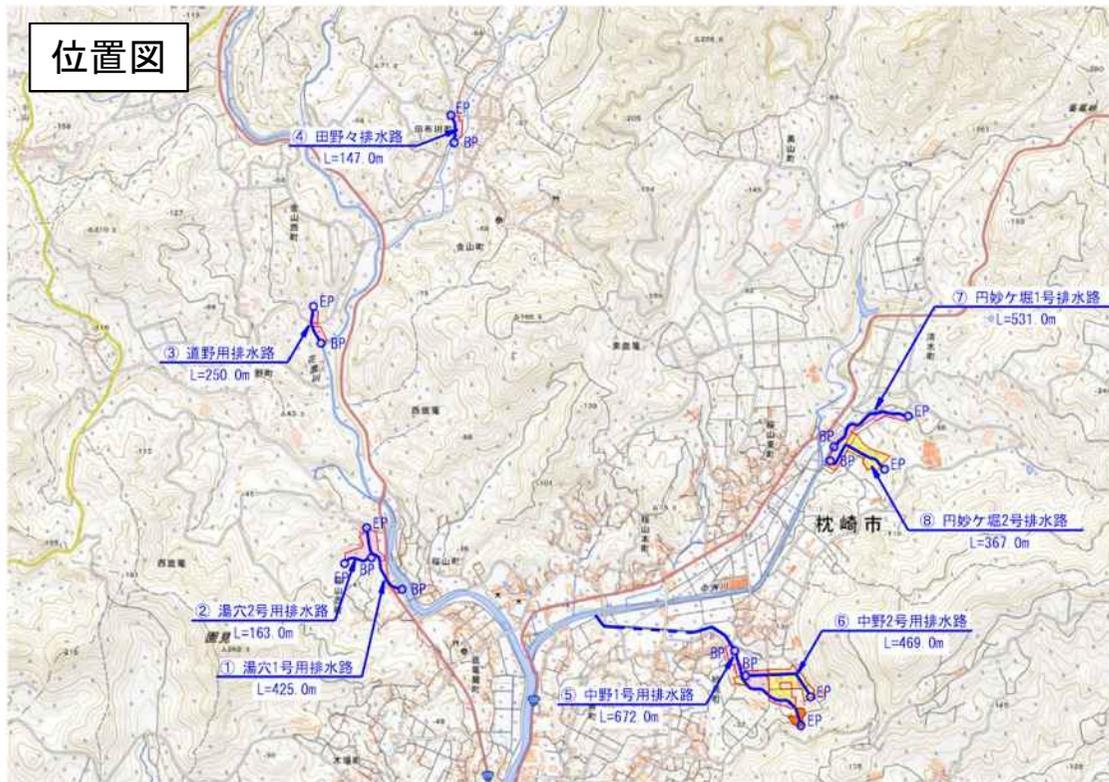
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水機場の維持管理 排水ポンプの機能更新	枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

用排水路の整備【鹿児島県、枕崎市】

○排水機能が十分でない地域において用排水路の整備を行い、総合的な防災・減災対策を実施することにより農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。



活用イメージ図

排水施設等の活用

○ 農業用の用排水路や排水機場・樋門等は、市街地や集落の湛水も防止・軽減。



※排水機能を向上させることにより、農用地だけでなく地域住民の生命や財産、公共施設を守る。

【施設の整備等】

○ 老朽施設改修、ポンプ増設、降雨前の排水操作等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	用排水路の整備	鹿児島県、枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

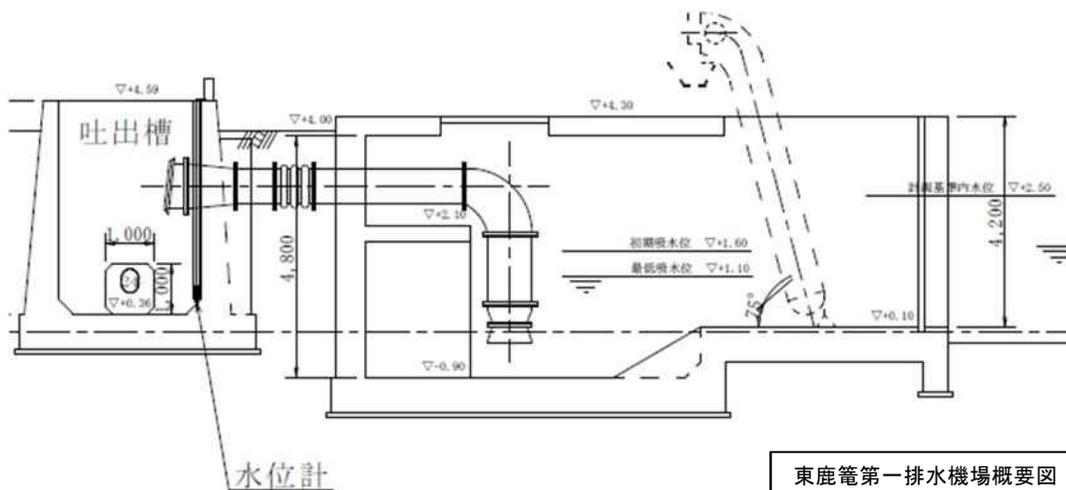
排水機場（東鹿籠第一，東鹿籠第二）の維持管理【 枕崎市 】

- 枕崎市には水田の湛水防除を目的とした排水機場が2箇所設置済み。
- 排水機場は、大雨の際に水田の湛水防除はもとより国道や市道等の冠水対策にも寄与している。
- 機能保全計画に基づいた確かな更新整備を行うことで、安定した内水対策に貢献する。

湛水防除範囲



機場名	東鹿籠第一	東鹿籠第二
諸元	水中ポンプ φ700×2基 2.0m ³ /s	水中ポンプ φ400×2基 0.7m ³ /s
施設管理	枕崎市	



東鹿籠第一排水機場概要図

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水機場の維持管理	枕崎市	▶		

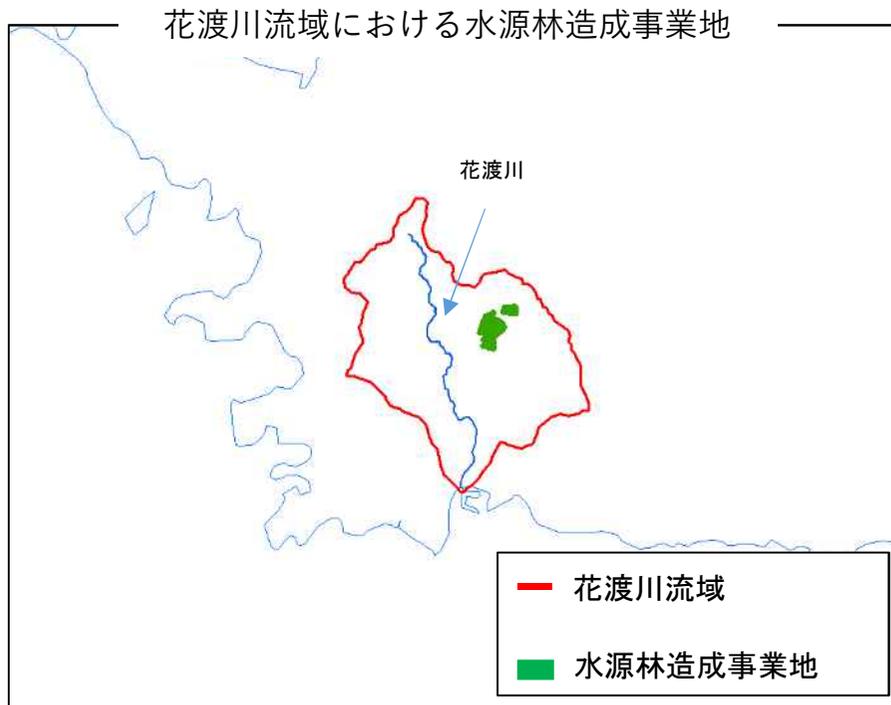
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備による流出抑制対策【国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター】

■水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の私有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・花渡川流域における水源林造成事業地は、2箇所（森林面積 約56ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	森林整備による流出抑制対策	森林研究・整備機構 鹿児島水源林整備事務所	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全，治山施設整備の取組【鹿児島県・南さつま市・枕崎市等】

- 人工造林（再造林）などの森林整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

【治山施設整備イメージ】
豪雨等に伴う山地災害

【森林整備イメージ】

人工造林（再造林）

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・森林整備による流出抑制対策
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策



間伐



治山施設の整備（溪間工・山腹工）

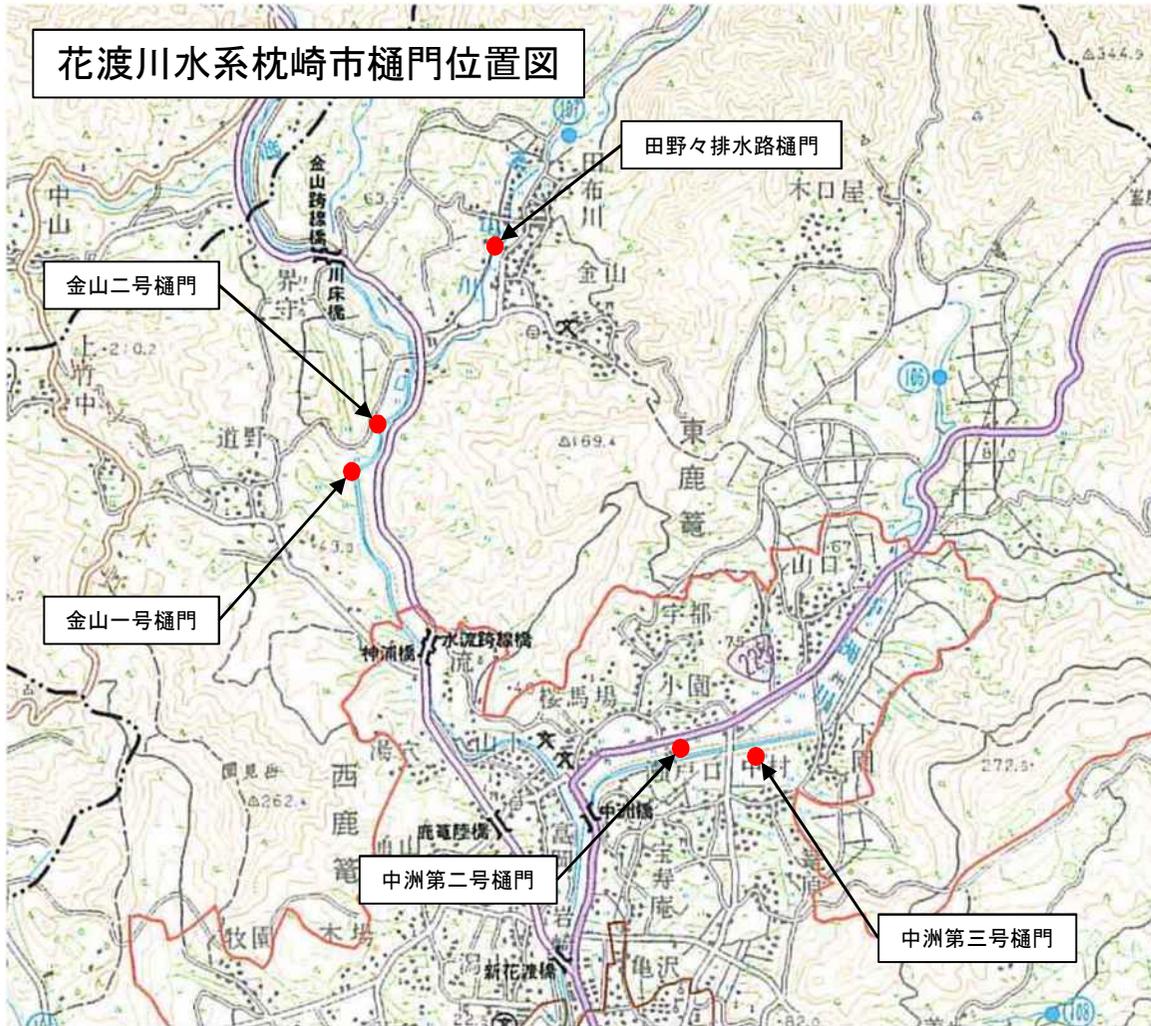


区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	県・市・森林組合 等	[Red bar indicating implementation period]		
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	鹿児島県	[Red bar indicating implementation period]		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

樋門等の点検・維持管理【枕崎市】



●樋門点検・維持管理

ゲリラ豪雨などによる急激な河川増水等に備えるため、日頃から樋門の点検などを実施し樋門の機能を維持する。

【点検状況】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	支川等への逆流防止	樋門の点検・維持管理 (市管理樋門)	枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上（「土砂災害警戒区域等マップ」、「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,327箇所
土砂災害特別警戒区域 : 19,778箇所
(令和5年3月末時点)

土砂災害防災訓練

土砂災害に関する
出前講座



垂水市



喜界町立早町小学校



志布志市



南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域、雨量、土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

土砂災害警戒情報の基準が新しくなります！

土砂災害警戒情報

- 鹿児島県と鹿児島地方気象台と共同で、土砂災害の発生の危険性が高まったと判断した場合に、土砂災害警戒情報を発表しています。

土砂災害情報発表の考え方

【発表のタイミング】
避難に必要な時間を考慮し、土砂災害警戒情報の発表基準に達すると予想される概ね2時間前に発表する。

基準の見直しポイント

- 近年の降雨データ及び災害実績を反映（平成18年～令和2年）
- 従来の5kmメッシュ毎の基準から1kmメッシュ毎の基準に細分化することでより細やかな地域単位で危険度を判定
- 定常的に人が活動していないなど、重大な被害を及ぼす土砂災害の危険性が認められないメッシュを土砂災害警戒情報の判定から除外

鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

花渡川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップの公表【枕崎市】



ため池ハザードマップの公表

【目的】

大規模な地震や豪雨等で決壊した場合に人的被害の恐れがある防災重点農業用ため池について、被害想定区域や避難場所を表示したハザードマップのホームページへの掲載、学校等の公共施設に看板を設置済みであり、地域住民の自主防災意識の向上、ため池の防災対策や災害時の被害軽減に活用している。

【防災重点農業用ため池】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

農業用ため池(箇所)	うち防災重点農業用ため池(箇所)
2	1 (中島ため池)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの公表	枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

自主防災組織による地域の自助・共助の推進【枕崎市】

○ 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化(地域の防災力向上)

実働する自主防災組織を目指して、自主防災訓練の実施を推進。⇒住民の自助・共助を強化することにより、地域全体の防災力、避難体制を向上。

- ・県防災アドバイザーによる出前講座の活用
- ・自主訓練等の準備・計画段階での市職員の派遣
- ・地区防災計画の作成に向けて市からの助言等
- ・地域防災リーダーの育成
- ・市防災研修会による知識の習得と災害に対する備えの実践
- ・児童生徒に対する防災教育の実施



枕崎市内の自主防災組織結成数等(令和5年4月1日時点)

- ・結成公民館等 68公民館
- ・未結成公民館数 6公民館
- ・自主防災組織の組織率 97.61% (市全世帯に対する結成地域の世帯割合)
- ・花渡川流域にある自治公民館数 19公民館

自主防災組織が、浸水・土砂災害を想定した自主訓練を定期的実施できるように、市職員の派遣・助言、県防災アドバイザーの派遣等を行いながら、水防災意識を高め、防災力と避難体制を強化していく。

そのほか、学校等から防災に関する授業や講話等の依頼があった場合は、出前講座というかたちで対応する(児童生徒に対する防災教育の実施→教委、小中学校との連携)。

また、市総合防災訓練では、河川流域の浸水害等を想定した避難訓練や建設業組合、電気業組合、医師会等、関係機関との連携を図った訓練を実施していく。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	枕崎市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災マップの更新、情報伝達手段の多重化への取組み【枕崎市】

【近年の災害状況】

近年は、線状降水帯による長期の大雨や局地的なゲリラ豪雨など記録的な大雨により、急激な河川の増水や低い土地での浸水被害など、これまでなかったような被害が全国で起きている。今までは大丈夫だったという意識から、なかなか避難しようとならない、あるいは避難が遅れてしまうケースが想定される。

【取組状況等】

本市では、総合防災マップを令和元年度に作成しているが、その後も土砂災害警戒区域等の追加、市内河川の水位状況による警戒態勢や避難のタイミングなどを記載したものに更新する。また、防災情報を住民に確実に伝達し、早期避難を行うため戸別受信機の設置促進、防災・一般情報提供メールの登録促進を行うとともに、避難時は避難所の込み具合がわかるシステムを活用し、混雑を避け、スムーズな避難が行われるよう周知し利用者の拡大を図る。



○土地のリスク情報の充実・提供 総合防災マップの修正・更新 (令和6年度以降)

- ・土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の情報更新
- ・地区ごとのハザードマップ(拡大版)の作成(より見やすく、わかりやすく)
- ・市内河川の水位情報の周知と警戒態勢についての情報を新たに記載する。

○防災情報、避難体制の検討、連携強化

- 防災情報の伝達手段の多重化を図り活用を促進
- ・防災行政無線戸別受信機の設置促進(補助制度あり)
- ・防災・一般情報提供メールの登録促進(令和7年度目標:20%以上)
- ・避難所可視化システムの周知



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地リスク情報の充実 避難所情報の充実	総合防災マップの更新 避難所可視化システムの周知	枕崎市	➔		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

令和5年5月25日13時～

顕著な大雨に関する気象情報を「より早く」提供します

現在は、線状降水帯の**発生**をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を公表しているところ、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指し、最大30分程度前倒して「顕著な大雨に関する気象情報」を公表。

同時に気象庁ホームページに線状降水帯の発生範囲を表示

イメージ



○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）

○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分後の解析）

令和5年2月16日運用開始

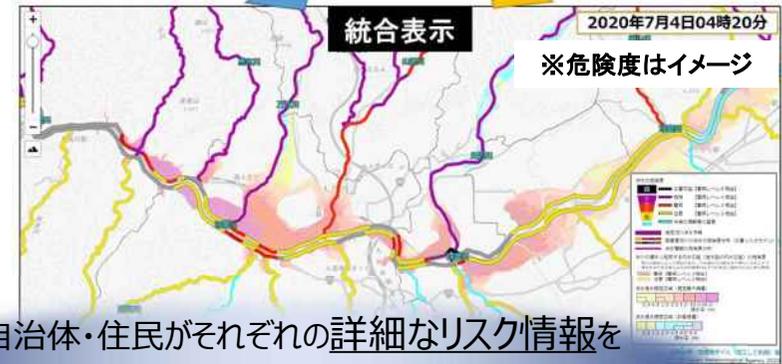
洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」（水害リスクライン）

※ 大河川のみめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」（洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民がそれぞれの詳細なリスク情報を洪水キキクルページ（気象庁HP）で一元的に確認可能に

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材 「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル - 10分で防災 -



福岡管区気象台HP（教材はこちら）
<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきると思いますか？

何が起きる
ここに色々
書いて
ください！

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何が起きる どういう行動をする
今度は、ここに
書いてください！

ステップ2 話し合う

他人の考えを聞いて、新たな
「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思
いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところにみんなする
雨がたふる	進路などはあくして、
土砂くずれ	水、食べものを準備しておく
高潮川が溢れ	高いところに行く
強風	

ステップ3

振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。
用水路や道路のマンホール。
普段は何でもない場所が、
突然の大雨で、命を落とす場
所に変わる可能性があります。
「自分の身は自分で守る」と
いう意識を身につけましょう。

起きる災害
を考える



自分の行動
を考える



行動を
話し合う



各班の意見を
みんなで
聞きましょう



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

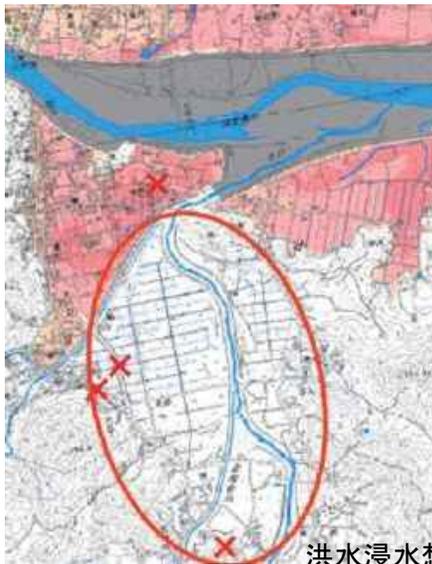
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

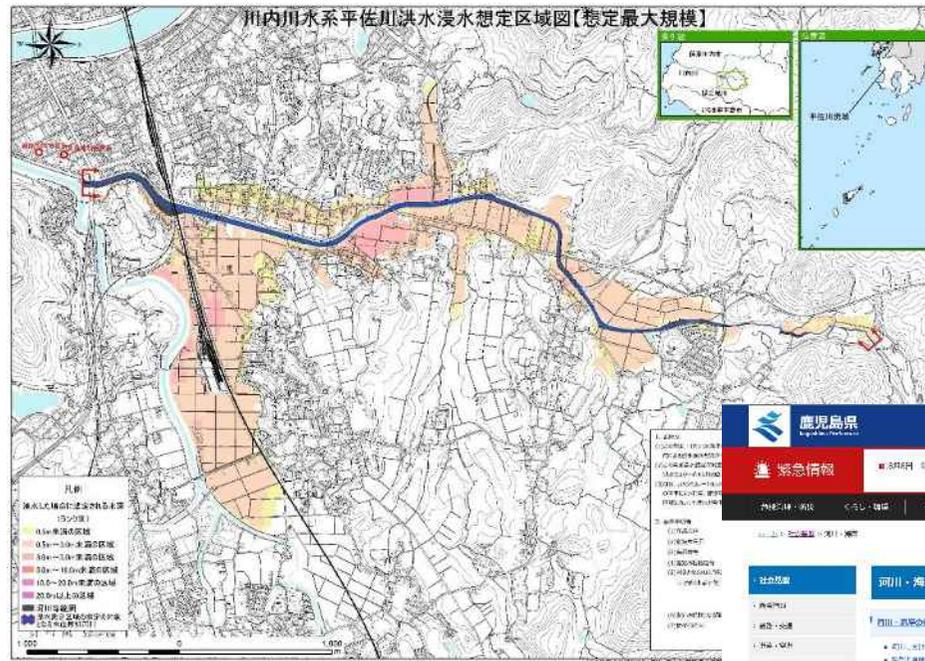
洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- ・ 現在の水防法では、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- ・ 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・ 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

浸水想定区域図(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供【鹿児島県、気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。下図のように花渡川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

花渡川流域における 水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

花渡川水系内に設置されている各施設数（R6.2末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	1	1	1	1
気象庁	—	—	—	1
合計	1	1	1	2



危機管理型水位計



簡易型河川監視カメラ



凡例	
□	水位計, カメラ
▲	水位計
△	危機管理型水位計
○	雨量計(県)
●	雨量計(気象庁)

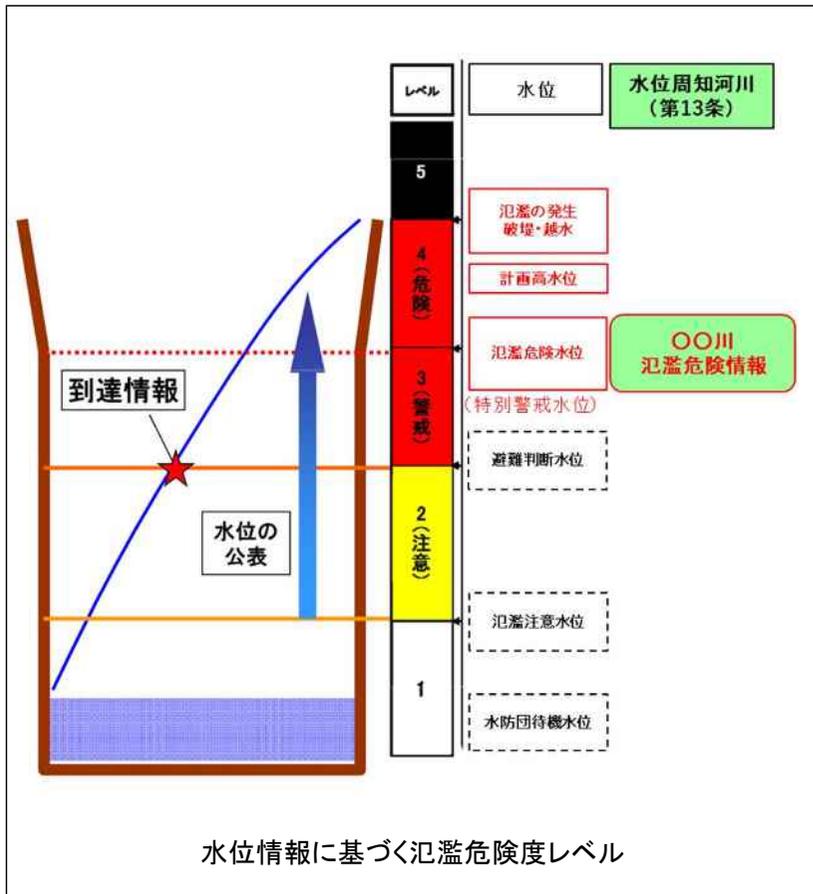
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供	鹿児島県、気象庁			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位周知の実施【鹿児島県】

- 洪水により相当な損害を生じるおそれがある河川として、花渡川水系花渡川を水位周知河川に指定している。
- 河川の水位が、豪雨等により増水してはん濫危険水位に達したときは、当該河川の水位又は流量を水防管理者に通知する。
- 気象情報と同様に報道機関にも通知されるほか、鹿児島県河川砂防情報システムでも公表し、住民の避難行動に資する。



河川名	基準地点	水防団待機水位 (m)	氾濫注意水位 (m) レベル2水位	避難判断水位 (m) レベル3水位	氾濫危険水位 (m) レベル4水位
花渡川	神浦橋	2.10	2.60	2.90	3.30

基準水位

鹿児島県河川砂防情報システム

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位周知の実施	鹿児島県			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報(洪水浸水想定区域や浸水実績)について、地図情報上に集約化し、わかりやすく県ホームページに公表(R3.2月末より運用)

<http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html>



トップページ

洪水浸水想定区域

- 洪水浸水想定区域
- 区域表示なし
- 計画規模
- 想定最大規模

浸水実績等の周知

河川名	次田川	注意事項
被災年月日	令和元年7月1日(豪雨)	・被災箇所の市町村名は、当時の市町村名となっています。
被災箇所	いちき串木野市大里地内	・浸水原因、被害等は、被災時の現地調査、聞き取り等によるものです。
浸水原因	堤防決壊(2ヶ所)	

浸水実績等の周知

- 令和元年7月(浸水区域(80ha))
- 床上浸水(17戸)
- 床下浸水(62戸)

洪水浸水想定区域

浸水実績

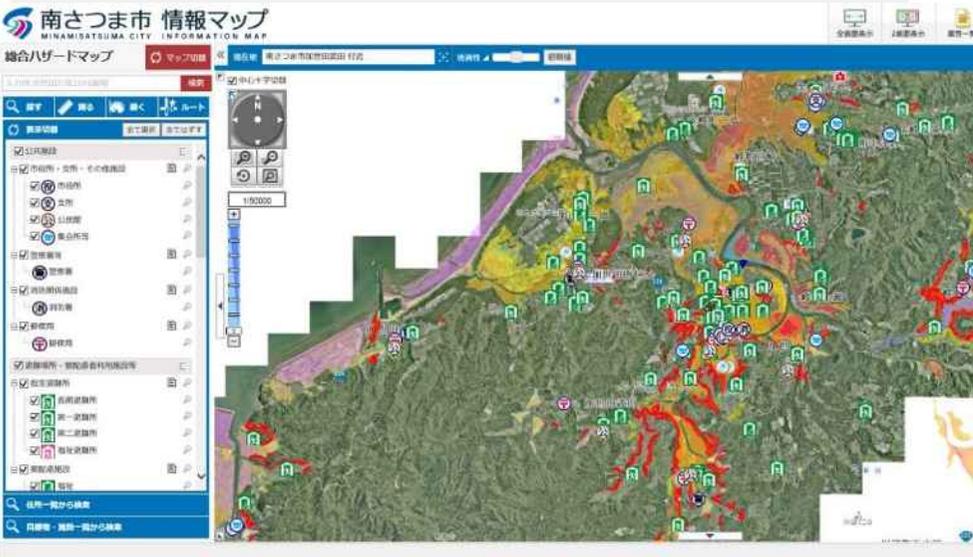
それぞれの枠内をクリックで
詳細メニューの表示

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ハザードマップの作成・公表【南さつま市】



防災ハザードマップの公表

【目的】

破堤による氾濫等の浸水情報、土砂災害警戒情報や地震による津波浸水情報等と住民避難情報とを市民向け公開型GISで提供することで市民サービスの向上、防災意識の向上を図る。

【公表方法】

- ・A4冊子(市内全世帯配布)
- ・住民公開型GIS(パソコン、スマートフォン等)

【提供情報】

- ・指定緊急避難場所、指定避難所
- ・洪水浸水想定区域
- ・土砂災害警戒区域
- ・津波浸水区域
- ・金峰ダム浸水区域
- ・ため池浸水区域
- ・市道網図 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ関連	住民公開型GISによるハザードマップの公開	南さつま市			

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災訓練の実施・防災研修会の開催【南さつま市】



防災訓練の実施

【目的】

南さつま市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が一体となった訓練を実施し、発災時の応急対応、住民の防災意識の高揚を図る。

【訓練場所】

毎年度 9月開催 加世田地域、笠沙地域、大浦地域、坊津地域、金峰地域の隔年開催

【参加団体】

市、消防、消防団、地域住民、市内事業所、警察署、自衛隊、関係機関 等

防災研修会の実施

【目的】

防災意識の普及啓発と自主防災組織の育成・強化を図る。毎年度1～2回開催

市内:82組織 組織率:89.3%

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水防災意識の醸成	・総合防災訓練の実施、自主防災会等を対象とした研修会の開催	南さつま市	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県の事例】

地域の防災 リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による 地区防災計画作成

D I G（災害図上訓練）の様子



防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



非常持出品が
家にある人？



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



- ワンポイント**
- 1 準備する物
 - 2 水・食糧
 - 3 自分にとって必要な物
 - 4 防災グッズ・備蓄品
 - 5 必要に応じて
 - 6 ラジオ・懐中電灯
- ※各自治体の1～2割程度



どうだった？

思ったより、軽かったです！！

まぐ・てく歩こう

参加人数
240人

その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修、出前講座等	県			